

第2回看護研究会

(看護補助者教育研修会)

令和5年8月1日(火)

ハイブリッド開催

(会場：岡山県医師会館)

〔午前〕講演

演題 『認知症を持つ人に寄り添うコツ』

講師 一般財団法人津山慈風会 津山中央病院 看護副部長兼外来師長
認知症看護認定看護師 小幡陽子氏

〔午後〕講演

演題 『基本のおむつの当て方とポジショニングの基本』

講師 一般財団法人津山慈風会 津山中央病院 副師長
皮膚・排泄ケア認定看護師 吉田美佳氏

(一社) 岡山県病院協会

(注：類似した感想はまとめています。)

第2回看護研究会（看護補助者教育研修会）のアンケート集計（令和5年8月1日）

（ 49病院 116名 出席 ・ 109名 回答 ）

1. 講演『認知症を持つ人に寄り添うコツ』を聞いて。

（講師：一般財団法人津山慈風会 津山中央病院 看護副部長兼外来師長／認知症看護認定看護師 小幡 陽子 氏）

A.

a. 大変勉強になった	85名	c. 勉強にならなかった	0名
b. 勉強になった	24名	d. 全く勉強にならなかった	0名

未記入 名

B. 講演内容について

a. 大変分かりやすかった	78名	d. 少し難しかった	4名
b. 分かりやすかった	21名	e. とても難しかった	0名
c. 普通	6名		未記入0名

C. 感想があれば一言。

- ・ 詳しく分かりやすく話をして下さり、ありがたかった
- ・ とても分かりやすいお話だった。日々の業務に活かしていこうと思う
- ・ とても詳しく説明があったのでこれからの業務に取り入れることができ参加して良かった
- ・ 職員に寄り添った事例や例え話が多く、楽しく聞かせていただいた
- ・ 認知症とは何かを深く理解することができた
- ・ 認知症について、詳しく分かった・より理解が深くなった(2)
- ・ 認知症について、再度勉強ができて・詳しく聞けて良かった(2)
- ・ 認知症について知らないこともあったので、勉強になった
- ・ 認知症について再確認できる機会になった。自分の行動について考えさせられた。ありがとうございました
- ・ 認知症の患者さんの、接し方・声かけの仕方について勉強になった(2)
- ・ 認知症の方への、接し方の基本・対応の仕方を学べて良かった(2)
- ・ 認知症の方に対する関わり方など改めて勉強になった
- ・ 認知症の方に対する関わり方の方向性が自分でもしっくりきた。ありがとうございます
- ・ 今一度、認知症の方との向き合い方について学ぶことができ、大変参考になった
- ・ 認知症の方への接し方を改めて学べた。一人ひとりの患者さんの背景を考えてケアにあたりたい
- ・ 行動・心理・声かけなど、とても勉強になった
- ・ 認知症についての行動・心理状態など改めて考えさせられ、学びがあった
- ・ BPSD に対する、学びを深めることができた・勉強できて良かった(2)
- ・ 認知症の中核症状とそれに伴う BPSD の要因や違いがとても分かりやすかった
- ・ 認知症の原因（種類）や対応について知ることができて役立った
- ・ しばらく介護から離れていたもので、初心を思い出すことができ良かった
- ・ 対応の仕方について他職員に可能な限り周知したい。マンパワー不足が解消されゆとりができるともっと良くなると思った
- ・ 基本的な部分だが、改めて今後のケアに生かしていきたい
- ・ 認知症患者と関わることは多く今後も増えていくと思うので、活用していければ良いと思った
- ・ 過去に聞いていたことも日々の業務に追われ意識が薄れていた部分もあり、再認識できた

- ・ これからの自分の患者さんへの対応を見直すことができた
- ・ 日々の仕事の中で自分も対応に気をつけなければいけないなと思った
- ・ 患者さんペースではなく、どうしても自分達の働きやすさで働いていた。患者さんに寄り添うケアを心掛けなければと再確認できた
- ・ 患者さんの気持ちを考え自分本位のケアにならないようにしようと思った
- ・ 毎日患者さんと関わっているので、表情・感情など意識して仕事をしていきたい
- ・ 例題があり分かりやすかった。認知症の方との関わり方、特に声のかけ方など重要だと思った
- ・ 認知症の有無にかかわらず、全ての患者さんに当てはまる話だと思った。豊富な事例があり、とても興味深く勉強になった。最後の CM で思わず泣いてしまい、かつやる気が出た
- ・ 認知症の患者様に対して寄り添う大切さを学んだ
- ・ 認知症の種類や特徴、接し方等について知ることができ、一人ひとりに寄り添っていききたいと思った
- ・ 認知症の方だけでなく、患者様に寄り添って接する、言葉で上手く言えないから目と体温で...伝えてみることをしていく。実践していきたい
- ・ 「言葉でうまく言えないから目と体温で伝えてみる」とても良く、すぐ取り組める接し方だと思った
- ・ 言葉でうまく言えないから、目と体温で伝えてみようと思う
- ・ 認知症に限らず、その人の感情に寄り添うことが大切。分かりやすい講義だった
- ・ その場しのぎでなく、寄り添う気持ちで接するよう心掛けたいと思った。丁寧な言葉遣いで安心してもらえるよう表情や声のトーンなど気をつけていきたい。その人に合わせた対応をしたい
- ・ 今後の業務で、言葉の声かけ、寄り添い方を変えてみようと思った
- ・ 「認知症というくくりを作らず」「自分達を映す鏡」という言葉が印象に残った。対応困難な患者に遭遇した時こそ、自分の対応を振り返らなければと感じた
- ・ 認知症の人という括りを持つことなく接していききたいと思った(2)
- ・ 安心に繋がる話し方・接し方の大切さが分かった
- ・ より専門的に認知症への理解が深まったため、今後は業務において、認知症患者への適切な対応ができる自信がついた
- ・ 研修で気づかされたことが多くあった。認知症の進行の背景には大きく環境が影響する。認知症を理解し、その人らしい生活を送れる介助を行いたい
- ・ その人らしさを大切にし、いい感情でいいケアができるように心掛ける
- ・ 身近に認知症の方が増え、周りの環境を変えることで BPSD を抑えられるということが分かりうれしかった
- ・ 心穏やかに暮らすことが治療になるなら、できることが多数あると思った
- ・ 認知症の方でも、うれしいこと・悲しいことは心に残ることが知れてよかった
- ・ 認知症の患者さんは不安でいっぱいだということ、補助者の自分達でもできることがいろいろあるということが分かり、日々の業務に生かしていきたいと思う
- ・ なぜその発言・行動をとったのかを考えて、その気持ちを大切にし、安心感に繋がられるよう関わりをしていきたい
- ・ 認知症患者の行動1つ1つに理由があることを知った。その人が何を思っているかを私たちは考え、丁寧に接していかなければならないと思った
- ・ 認知症のメカニズム、患者さんの気持ちを知ることで、どのように寄り添えば良いか理解が深まった
- ・ 認知症の人がどう考えているか、何をしてほしいか、ちゃんと話を聞いてこちらからも優しく問いかけることが大事
- ・ 患者さんにとって安心した療養生活を送ってもらうために、思いや不安を聞き寄り添いたい

- ・ 問題行動のように思われてしまう事にも、きちんと意味があること。事例も挙げられていて振り返りになった。手や声のトーンや表情だけで良くも悪くもなってしまうことが印象に残った
- ・ 認知症の方の不安時の言動について、不安から起きていることもあると聞き、その不安を取り除くことができ、コミュニケーションが図れたら良いと思った
- ・ 患者さんにとって安心できる生活環境にしていきたい
- ・ 患者さんの立場になった場合の目線（良い例、悪い例）を映像で見て解りやすかった
- ・ 認知症患者さんの目線・立場になって考えてみることの大切さが分かった(2)
- ・ 相手の立場に立って考え、笑顔で接することがとても大事だと思った
- ・ 声かけ、本人の立場で寄り添う
 - ・ 声かけのトーンに気をつけていこうと思う
- ・ 声のかけ方等再確認でき勉強になった
 - ・ 認知症の人には怒らないことが一番だと思った
- ・ 視界に入ることで、言っても伝わらない事が、見てもらったら伝わることもあると知れた
- ・ 認知症の患者さんと接する際には、特に表情・声のトーンに注意しようと思った
- ・ 声掛けなども業務に追われる中で上手くできていなかったかなと反省。相手の気持ちになって行っていこうと思った
- ・ 患者にとって温かい声かけと環境作りを忘れず、ケアに当たりたいと思う
- ・ 患者さんに業務をすることの声掛けが大事で、喜んでくれているうれしい気持ち・ありがとうという感情を声に出していきたい
- ・ 入院患者さんについて大きな声で声掛けをしているが、それはダメで、いつもより声のトーンを下げて声掛けをした方が良いことが分かり、これからやってみようと思った。とても勉強になった
- ・ 認知症一人ひとり異なるとは知っていても、一人ひとり対処法も違うので、もっと注意して接していこうと思った
- ・ 認知症の症状、一人ひとりに合った対応の仕方を改めて確認することができ大変勉強になった
- ・ 人の手を煩わせなければ認知症にはならない、ということは意外だった
- ・ 治る認知症があることを初めて知った。早期発見は大事だと分かった
- ・ 認知症マフ、初めて知った。チャンスがあれば試してみたいと思う
- ・ 自分の親のことで悩んだり、病院に入院させたり、いろいろ大変だったことを思い出した
- ・ 患者さんだけでなく、自身の両親も高齢者で詳しく学びたかったので、とても勉強になった。ありがとうございました
 - ・ 認知症の方の対応は難しい

2. 講演『基本のおむつの当て方とポジショニングの基本』を聞いて。

(講師：一般財団法人津山慈風会 津山中央病院 副師長 皮膚・排泄ケア認定看護師 吉田 美佳 氏)

A.

a. 大変勉強になった	76名	c. 勉強にならなかった	0名
b. 勉強になった	32名	d. 全く勉強にならなかった	0名

未記入1名

B. 講演内容について

a. 大変分かりやすかった	64名	d. 少し難しかった	3名
b. 分かりやすかった	32名	e. とても難しかった	1名
c. 普通	9名		未記入0名

C. 感想があれば一言。

- ・ 勉強になった
- ・ 動画がいくつもあり分かりやすかった
- ・ 今までの復習になった
- ・ 患者さんの声に耳を傾け、補助者としてできることを考え看護師と連携した看護をしたい
- ・ 日々の患者様のケアを行っていく中で活かせることがたくさんあった
- ・ 効果的に行うと患者さんの安楽や業務改善にもつながると思った
- ・ 患者さんが不快な思いをしないように心がけたいと思う
- ・ 基本のおむつの当て方が、分かって良かった・再度勉強になった(2)
- ・ おむつの当て方はちゃんと教えてもらえていないので、勉強になった
- ・ 現在おむつのケアはしていないが、今後のため大変参考になった
- ・ 実際におむつ交換に関わるのがあまりないが、今後に生かせそう。体に合ったおむつ選びが大切
- ・ 今後おむつ交換などすることがあれば、学んだことを活かしていこうと思う
- ・ おむつの・体位変換の、基本がよく分かった・正しいやり方を学べて良かった(2)
- ・ おむつカバーやパットについて誤った扱い方をしていたので、改善したいと思った
- ・ おむつ交換のポイントが分かりやすく、勘違いをしていた事を見直すことができた
- ・ おむつのパットの種類や当て方など、基本に戻って現場で役立てたい
- ・ おむつ交換時について理解できた
- ・ おむつの性能を正しく理解し活かしていく
- ・ 尿漏れしないためのポイントを学ぶことができた
- ・ 普段は速さを求められるが、丁寧におむつ交換して漏れなどを防ぎたいと思った
- ・ おむつ、パットの当て方がよく分かった。視界に入りしっかり声かけ
- ・ おむつの当て方について学べたので、看護師にも共有しようと思った
- ・ 患者さんに合ったおむつの当て方があることが勉強になった
- ・ 一人ひとりにあったオムツを使用しもれないように気をつける
- ・ おむつの当て方を一から学べ、モレの原因から解決まで学べた。ポジショニングは、安楽・快適でなくてはならないことが理解できた。点ではなく面でポジショニングを行う
- ・ おむつのポジショニング、不安だらけだったので大変勉強になった。圧抜きの大切さも勉強になった。今後、ナースさんと連携を取り実行していきたいと思った
- ・ おむつ交換・ポジショニングの基本はとてもわかりやすく、これからも活かしていきたい
- ・ おむつの当て方に関しては日頃から気を付けていることを改めて再確認させられた。ポジショニングは背抜きに関してあまりできていなかったので興味深かった
- ・ おむつに関しては知らないこともあり、ポジショニングについては明日からでも実践できそう。除圧については看護師と共に実践したいと思う
- ・ おむつの当て方、きちんとギャザーを立てたいと思う。ポジショニングでは、隙間ができないように気をつけていきたい
- ・ これまで何気なくやってきたおむつ交換、体位変換で、患者さんに苦痛を強いてきたと反省した。学んだことを明日から実践する
- ・ ほぼ寝たきりの患者さんの負担を考えると、おむつの当て方や体位変換やポジショニングの重要性についてすごく考えさせられた
- ・ 自分の知らないおむつ、ポジショニングがいろいろあったことにビックリ。これからの業務にぜひ活かしていきたい
- ・ おむつの当て方とポジショニングを見直していかないと、と思った

- ・ 解るとやってみるとでは違いがあるが、分かりやすかった。シーツのしわがあると皮膚にもしわができてつばるのも初めて知れて良かった
- ・ 今まで何となくで行っていた体位変換やポジショニングも、ポイントを押さえて行える自信が付いた
- ・ 間違えたポジショニングをしていることに気がついた。一人でもできる背抜きを看護師の指示に従って、してもいい人には積極的に取り入れてきたいと思った。ありがとうございました
- ・ 隙間を空けないポジショニングの意味が分かった
- ・ ポジショニングで枕をマットレスとベッドの間に入れることで背面が支えられるのは、したことがなかったので、実践していきたい
- ・ 今後ギャジアップによる背中へのズレ・摩擦に、より気をつけていきたいと思う
- ・ ギャジアップの時に、小柄な方を上まで上げて背上げをしていたが、曲がる場所にお尻が来るようにすることを知れて良かった
- ・ 身体の体位を変えた際、その都度圧抜き・背抜きをして安楽な体位を心掛けたい
- ・ 業務でおむつを当てることがなく、感じが全くつかめず、やってみたかったが前での実技は敷居が高く手を挙げられなかった。ポジショニングも普段行わないので勉強になった。まとめもう少し長く見せていただきたかった
- ・ 画像でも分かりやすかったが、おむつを実際にあてて確認できたらもっとよかった
- ・ 基本の当て方は業者の講習なども受けているので、実例でパットの色々な当て方を教えてほしい
- ・ おむつもポジショニングも経験不足なので、きっちりできるまで少し時間がかかりそう

3. 仕事をする上で困っていることや、今後勉強したいこと・聞きたいこと等希望する研修内容などがあればご記入ください。

【仕事をする上で困っていること】

- ・ 看護師との情報共有が全くといっていいほどできていないから困る
- ・ 看護師さんとの患者さん情報が統一されていないこともあり、確認作業で時間を取られる。上手な情報共有ができる方法があれば、ご意見・アドバイスがほしい
- ・ 患者さんがどのような病気で入院してこられたのかなどの情報がこちらまで伝わらないので、分からないまま患者さんと接するのが一番困っている
- ・ おむつの効果や着替える時に、腕を袖から抜く・通すことが難しくスムーズにできない
- ・ お風呂の介助等、暑いときは大変なのでエアコンがほしい
- ・ マンパワー不足
- ・ 看護師さんもこの研修の内容の事を共有してほしいと思う

【今後勉強したいこと・聞きたいこと等】

- ・ 病棟勤務で看護師から指示される内容がグレーゾーンのことがあり、時々悩むことがある。看護補助者の業務内容について再度勉強し直したい
- ・ 補助者でも、資格がある人ない人がいる。看護師とも資格のない人とも共働と相談などは必要だとは思いますが、介護福祉士として看護師の指示がなくできることもあるはず。病院で働く介護福祉士として何ができるのかを聞きたい
- ・ 様々なシチュエーションの中で、コミュニケーションを上手にとる工夫があれば学びたい
- ・ コミュニケーションスキルをあげる方法を知りたい
- ・ 接遇マナー、コミュニケーション
- ・ 医療従事者のよりよい人間関係を築くコツ
- ・ メンタル（ポジティブ思考の維持、マイナス思考の排除）コントロールの仕方

- ・ 会場に行くのもいいが、現地に行く時間をかけずに参加できるのはいいかも
- ・ 現地に行かなくても素晴らしい講演が聞けて良かった
- ・ 勤務先から参加することができて良かった（地理に詳しくないので）
- ・ 勤務先からのオンライン参加だったので、行く場所に困らなかった
- ・ 県北なので、会場まで行かなくていいのがすごく助かった
- ・ 県北なので、このような形（Web）で研修に参加でき大変いい勉強になった。ありがとうございました
- ・ 県北からは遠いので、会場と同じように話も聞け、移動手段のことを考えたら楽で良かったと思う
- ・ 会場までが遠いのでオンラインで受講できることはありがたい。途中何度もインターネット接続の不具合で聞くことができなかつたのが困ったが、とても勉強になった。大切なことは、何においても寄り添うこと。相手の気持ちになること。ありがとうございました
- ・ 何回かパソコンが不安定になり最後まで聞けなかつたのが残念だった。けれど、現地に行けないときはリモートで聞けるので、そこは良いと思う
- ・ 暑い中だったので、移動がなく受講できて良かった ・ 移動時間が少なくて良かった
- ・ 自宅からの参加だったので、移動もなく良かった
- ・ 多様性の時代においてとても良い。参加しやすさも大事なので、ありがとうございました
- ・ 業務をしながら、抜けて研修を受けられたので良かった
- ・ 今回は会場で受講したが、県北に住んでいるので選択肢があることはありがたい
- ・ Web参加者さんが多く、会場が密にならず良かったと思う
- ・ 会場が多くなりすぎず良かった ・ Zoomよりも会場受講できて良かった
- ・ 話を聞くだけになるので、一緒に体験できる方がいいのかなと思った
- ・ リモートも便利だが、会場で講義を受ける方が個人的にはいいと思う
- ・ せっかくの実演も画面上では分かりにくく残念だった
- ・ おむつの当て方のビデオ画面が小さくて分かりづらかつた
- ・ おむつ交換の説明の時、画像が大きくならなかつたので少し見づらかつた
- ・ 実技は画面が小さくて見えにくかつた
- ・ 音声が聞き取りづらくて大事なところが聞こえなかつたりした
- ・ 音が途切れたりして聞き取りにくいときがあつた ・ 座っているのがしんどかつた
- ・ とても勉強になった(2)。ありがとうございました ・ 新たな知識を得ることができた
- ・ どちらの内容も分かりやすく学ぶことができた ・ 明日からの業務で活かしたいと思つた
- ・ 知っていることも知らないことも勉強になった ・ 改めて勉強になり実践していこうと思つた
- ・ 再確認できたり、新たなことを学べたり、とても良かった
- ・ 分かりやすく、参加できて良かった。改めて気づかされたことも多く現場で実践しようと思つた
- ・ とても勉強になった。たくさん知ることができ、明日からの患者様への対応に生かしていこうと思つた。動画もあり分かりやすかつた。ありがとうございました
- ・ 体験などを含んだ例を挙げての説明も分かりやすく勉強になった
- ・ 認知症、おむつの当て方を改めて勉強でき、これから仕事でも活かせるようにしたい
- ・ とても勉強になった。知っている知識、改めて知る知識等があり、がん患者様に対する考え方・接し方を統一し日々のケアに努めたいと思う
- ・ 日頃どうしたらいいか悩んでいたことのヒントがあつたので、良かった
- ・ 明日からの業務へのモチベーションが上がつた。自分の業務のあり方を見直している
- ・ 介助グローブを使った除圧について初めて詳しく知れて良かった
- ・ 介護経験が浅いので基本が学べ、講演内容が分かりやすかつたので勉強になった

- ・ さまざま病院の方のご意見が聞けて参考になった。ありがとうございました
- ・ 研修会がコロナ禍でも開催されたことがすばらしいと思った
- ・ 「会場の時計で〇時まで休憩」より、だいたいで「〇分休憩」と言っていただければ・・・
- ・ どんな作業でも声掛けが大事だと思った

4-②. ハイブリッド開催はどこで参加されましたか。

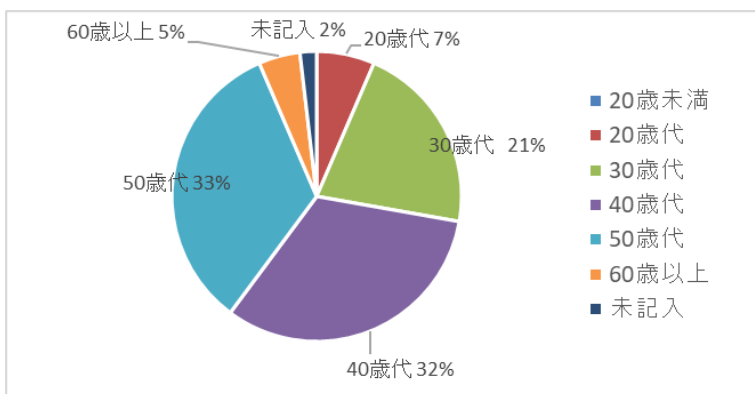
- a. 受講会場（岡山県医師会館） （20）名
- b. 病院（勤務先） （85）名
- c. 自宅 （7）名
- d. その他 （0）名

5. 今回の研究会に参加した動機はどれですか？

- a. 病院から参加を勧められた （56）名
- b. 自分から積極的に出席した （15）名
- c. その他 （0）名 未記入（2）名

・ 研修の開催、ありがとうございました

【年 齢】	【勤務年数】	【職 名】
20～29歳 （7）	～6ヵ月未満 （10）	看護補助者 （71）
30～39歳 （23）	6ヵ月～1年未満 （4）	介護福祉士 （31）
40～49歳 （35）	1年～5年未満 （17）	介護士・介護員 （3）
50～59歳 （36）	5年～10年未満 （24）	ケアワーカー （1）
60歳以上 （5）	10年～15年未満 （25）	看護師 （2）
未記入 （2）	15年～20年未満 （9）	未記入 （1）
	20年～25年未満 （12）	
	25年以上 （6）	
	未記入 （2）	



【施設】 病院（104）
 その他施設（0）
 未記入（5）

